

桜梅桃李

【学校教育目標】

～ 郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども ～

【9年間で目指す児童像】

～ 思いやり, 創造力, すこやかな体を持ち,
未来を担う 白根こまっ子 ～

令和8年7月21日 No4 文責 神宮司 剛

夏休みは成長のチャンス～昨日の自分に勝つ夏～

一学期も終業式を迎えました。保護者の皆様には、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。いよいよ子どもたちが楽しみにしていた夏休みが始まります。私は子どもたちに、いつも集会でこんな話をしています。



「比べる相手は、友達ではありません。昨日の自分です。」

「昨日の自分に勝つのです。」

昨日できなかったことが、今日はできた。

昨日より少し勇気を出せた。

昨日より少し優しくなれた。

昨年より、10分長く読書ができた。

そんな小さな成長を積み重ねることが、本当の成長だと思っています。夏休みは、その成長を積み重ねる絶好の機会です。お手伝いを続けることでも、本を読むことでも、苦手なことに挑戦することでも構いません。

「昨日の自分、前の自分より少し成長できた。」

そんな一日を41日積み重ねれば、二学期には子どもたちは大きく成長しています。

子どもは、自分の成長に気付いたとき、もう一度挑戦する勇気を持ちます。

そのために、ご家庭でもお願いがあります。お子さんが頑張ったときは、「すごいね」と評価するだけでなく、

「昨日より続けられたね。」

「前より自分からあいさつできたね。」 「前より、がまんでできるようになったね。」

というように、過去と比較し、子どもが成長した事実を伝えてあげてください。子どもは、自分の成長に気付いたとき、「もう一度チャレンジしてみよう」という勇気を持ちます。

この夏休みが、子どもたち一人一人にとって「昨日の自分に勝つ」四十一日間になることを願っています。

林間学校～5年生一人一人の成長実感～

6月の大型台風により延期となっていた5年生の林間学校を、7月7日(火)・8日(水)にハケ岳少年自然の家で実施することができました。

絵図ハイク、カレー作り、ナイトハイク、冒険ハイクなど、予定していた活動をすべて行うことができ、子どもたちは仲間と協力しながら充実した二日間を過ごしました。



林間学校後の子どもたちの感想には、「学年として成長できた」「友達の良さをみつけることができた」という言葉が多く見られました。また、引率した教職員からも、思いやりや自分から行動する姿がたくさん見られたと聞いています。

林間学校は楽しい思い出をつくるだけでなく、仲間と協力することの大切さを学ぶ貴重な機会です。この経験を、これからの学校生活でも生かしてくれることを願っています。

音楽集会～246の心をあわせて Tomorrow～

7月13日(月)に音楽集会を行いました。

音楽委員会によるハンドベルの演奏が始まると、体育館は静けさに包まれ、子どもたちは美しい音色に耳を傾けていました。その後は音楽クイズも行われ、全校が笑顔で盛り上がる楽しい時間となりました。

最後は、各学級で朝の会を中心に練習してきた岡本真夜さんの「Tomorrow」を全校で初めて合唱しました。体育館いっぱいに響く美しい歌声に、子どもたちも教職員も大きな拍手。全校が一つになったことを感じる、すてきなひとときとなりました。

音楽委員会の皆さん、心のこもった企画と運営をありがとうございました。



ききみみずきんおはなしの会～子どもを成長させる本の世界～

7月15日(水)から17日(金)までの3日間、読み聞かせボランティア「ききみみずきん」の鈴木和代さんに、全学級でお話の会を開いていただきました。

子どもたちは、本を見ずに語る鈴木さんの姿に驚きながら、言葉に耳を傾け、自分の頭の中で登場人物や情景を思い描き、お話の世界に引き込まれていました。

耳で聞いた言葉から物語を思い描くことは、想像力や思考力を育む大切な時間です。また、クイズを交えながら、本の楽しさや読書への興味を広げてくださり、子どもたちは笑顔いっぱいで参加していました。

まもなく夏休みが始まります。ぜひご家庭でも、お子さんが本に親しむ時間をつくっていただければと思います。一冊の本との出会いが、新しい世界への扉を開き、子どもたちの豊かな心や想像力を育んでくれることでしょう。

鈴木和代さん、心温まる素敵なお話をありがとうございました。



熱中症警戒～安全のためのご協力に感謝～

7月15日(水)は、朝から気温が高く、WBGT(暑さ指数)も33を超える危険な状況となりました。

子どもたちの安全を第一に考え、下校前に十分な水分補給を行うとともに、日陰で休憩しながら無理をせず下校するよう指導しました。また、保護者の皆様には急遽WEBアンケートによるお迎えの確認にご協力いただき、ありがとうございました。

子どもたちの安全を守るためには、学校と家庭が連携して対応することが何より大切です。今回の対応を検証し、1%ずつ改善を積み重ねながら、子どもたちの安全を最優先にした学校づくりを進めてまいります。